



# 小鯖小学校だより 2月号 令和3年 2月 1日 山口市立小鯖小学校

【学校教育目標】 確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく生き抜く小鯖っ子の育成

【めざす子ども像】 困：思いやりのある子 喜：さわやか元気な子 ば：ばっちり学ぶ子

## 2月は逃げる…？いや、立ち向かいますぞ！？ 校長 高田 修司



1月は行く、2月は逃げる、3月は去る、と昔から言われるように、3学期はあっという間に過ぎてしまいそうに感じる今日この頃です。

2月といえば、会社などでも決算に向けて様々な業務が山積しているのでしょうか、学校も次々とやるべきことが舞い込み、そこに年度末や新学年に向けての様々な行事やまとめの取組が重なってくる、というところでしょうか。

逃げたい？と思う弱い心に打ち勝ち、そして新型コロナウイルスにも打ち勝つべく、常に前向き、明るく楽しく元気よくありたいと自分に言い聞かせている今日この頃です。



(卒業式などの諸行事も、感染予防対策と時間短縮などを図りつつ実施する予定です！)

## 「目標」が人を動かし、 「愛情」がさらに人を動かす！

かつて私の中学校時代は、毎月「月頭朝礼」がありました。

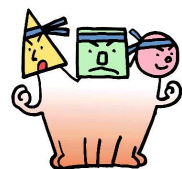
毎回ほぼ30分近く、しかも夏も冬も主にグラウンドでの実施だったので、しんどかった、という印象が強く残っています。

ただ、話の長かった(?)校長先生が、ことあるごとに「大きな目標と小さな目標を持ちなさい。」と話されていたことはよく記憶しています。



実際、目標の「ある」「なし」で日々の取組(生活)やその結果に大きな差が出てしまうことは、これまで多くの子もたちを見てきたなかで、痛切に感じています。

「ヤル気はやらないと出ない」と以前PTA 広報紙に書きましたが、やり始めるための最初のヤル気を出すのに「目標を掲げる」ことが有効な手



段だと思えます。

ちなみに、長らく「体型を裏切る健診結果(好結果)」を出し続けていた私ですが、ここ最近体重が100kg前後に落ち着いてしまい、とうとう健診でひっかかって「訪問指導」を受けさせられました。

そして「体重を1ヶ月で5kg落とす！」という目標を立てさせられました。

もちろん、イヤイヤ受けた訪問指導でしたが、訪問指導員さんが親身になって説明してくれるその熱心さと優しい笑顔、そして「高田さん、一緒に頑張りましょう！」

と温かい励ましの言葉をかけてくださったことで、

「せっかくの目標だし…、健康のために頑張って痩

せよう！」というエネルギーが自分の中に湧いてくるのを感じました。



『たかが目標、されど目標』です。

そして、『愛情はエネルギー』です。

目指すぞ！1ヶ月後の95kg?!